

# 事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

事務事業名	コード	15260 幼稚園施設等利用給付事業	予算科目	会計 一般	款 3	項 3	目 1	所管課	教育総務課	担当班	総務班	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業(重点施策) 重2 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業
基本施策	7	子育て支援の充実	根拠法令	旭市私立幼稚園第3子以降保育料等補助金交付要綱									
施策の展開	17	子育て世帯への経済的支援	戦略事業	92	第3子以降保育料等の無料化								
施策の展開			戦略事業										

## (1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 令和 元 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	・少子化対策の一環として、私立幼稚園に通園する園児の入園料・保育料・給食費を補助する事により保護者の経済的負担の軽減を図る。 ・18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある子どもを3人以上養育し、かつ旭市に住所を有する第3子以降の私立幼稚園に通園する園児の保護者を対象とする。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
私立幼稚園第3子以降就園補助金を幼児教育の無償化に係る新制度に合わせたものにし、少子化対策として引き続き多子世帯の経済的負担を軽減する。幼稚園副食費補助金の補助対象よりもカウントする子どもの年齢を引き上げ所得制限を撤廃する事により、給食費や施設等利用費で対象外となった経費についても助成対象としている。	兄弟と年齢が離れている事や所得制限により補助対象外となっている園児の保護者について、市の補助金で経費の補助が増加することとなった。	「幼稚園施設等利用費」と「幼稚園副食費補助金」と混同してしまう事がある。

## (2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算) 単位:千円	
1. 幼稚園第3子以降保育料等補助金	45
② 特定財源の内訳(2年度の決算) 単位:千円	
1. 国庫支出金	
2. 都道府県支出金	
3. 地方債	
4. その他	

事業費	費目内訳	単位	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
	1. 幼稚園第3子以降保育料等補助金	千円			135	45	448
財源	事業費計(A)	千円			135	45	448
	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円			135	45	448

前年度増減理由	補助対象となる園児数が減少したため
---------	-------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

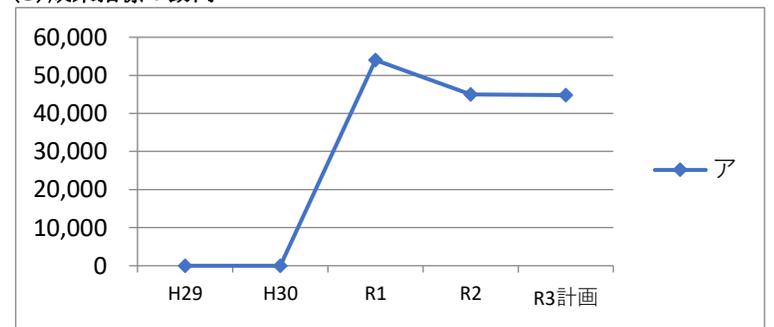
## (3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動) 副食費補助金対象者を抽出する際に補助対象外となった第3子以降の園児がいる家庭に通知を出した。保護者から交付申請書等の書類を受け、直接保護者に補助金を交付した。	ア 補助金交付件数(対象園児数)	件			5	1	10
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	対象 第3子以降の園児の保護者 意図 少子化対策の一環として多子世帯の保護者の経済的負担を軽減する。 対象意図	ア 対象多子世帯1件当たり補助金交付額(決算/交付件数) 但し、本事業はR元.10～に開始した為1年度実績は6か月となる。よって比較する為に(決算/交付件数)×2とした。	円			54,000	45,000	44,800

## (4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地	評価結果	コスト比率		
	普通	かなりある		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	小さい	ある程度ある				
		ほとんどない	①			
			②			
			③			
			④⑤	(4)		
			⑥			
			⑦⑧			
			⑨			

## (5) 成果指標の動向



## (6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難												
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増=成果向上	向上	横ばい	低下	比較	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度
	【コメント】(低下の場合、その理由)								成果動向	29年度	30年度	1年度	2年度	3計画
									ア	0	0	54,000	△9,000	△200
									イ					
	③ 今年度取組事項	時期	内容		今後の方向性	拡大	縮小	現状維持	廃止・休止	見直し	その他( )			
	(3年度に取り組む主な事項について記載)	R4.1	副食費補助金対象者を抽出する際に補助対象外となった第3子以降の園児がいる家庭に通知する。保護者から交付申請書等の書類を受け、直接保護者に補助金を交付する。		毎年1月			<input checked="" type="checkbox"/>			少子化対策の一環として、引き続き本補助金を交付する。			